肝炎医療コーディネーターについて

資料３

１．令和６年度肝炎医療コーディネーター養成研修の結果

■日　　程：令和６年 11 月１日～30 日（WEB 配信。確認テストの提出により受講を確認。）
■対 象 者：肝疾患診療連携拠点病院、肝炎専門医療機関、肝炎協力医療機関、その他医療機関
　　市町村、保健所、府、健康サポート薬局、患者団体
■当番病院：近畿大学病院　（輪番：公立大→近大→阪大→大医→関医）
■研修プログラム

講　義	講　師
大阪府の肝炎対策と医療費助成制度【資料】	大阪府　健康医療部　健康づくり課
肝炎・肝硬変：診断と治療.	近畿大学病院　消化器内科　医師　南 康範
肝がん：診断と治療.	近畿大学病院　消化器内科　医師　南 康範
肝炎医療コーディネーターの取り組み	近畿大学病院　看護師　玉守 昌子
肝疾患における栄養療法	近畿大学病院　管理栄養士　宮田 紘世
大阪肝臓友の会の活動紹介	大阪肝臓友の会　副会長　浅尾 元明
肝炎医療コーディネーターの活動報告 ～会の活動紹介と患者講義～	B 型肝炎患者をささえる会 代表　横山　功一・小池　真紀子

２．肝炎医療コーディネーターの配置状況（令和７年３月１日現在）

H30～R6 認定数：（累計）５，０４１人
R２～R6 認定数：（実）３，７１４人（延）４，６６３人
R６認定数：（新規）５３６人（更新）２８３人　（計）８１９人　３０８機関

	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	計
認定数	178 人	200 人	1,214 人	954 人	871 人	805 人	819 人	5,041 人
(内訳)　新規	178 人	196 人	1,198 人	695 人	624 人	570 人	536 人	3,997 人
更新	—	4 人	16 人	259 人	247 人	235 人	283 人	1,044 人

実働人員
（３，７１４人）の内訳

❶ 行政機関：３３６人（大阪府９２人、市町村２４４人）※未配置：8 市町

❷ 拠点病院・専門医療機関：2，071 人

二次医療圏	総数	設置機関数	設置割合	配置人数
豊能	17	17		328
三島	12	12		138
北河内	18	18		175
中河内	18	18		211
南河内	11	11	99.4%	232
堺市	15	15		61
泉州	17	17		263
大阪市	89	88*		663
計	197	196		2,071

*未設置１機関:専門医療機関の指定辞退の申出あり。

❸協力医療機関：550 人

二次医療圏	総数	設置機関数	設置割合	配置人数
豊能	48	11	23%	31
三島	37	13	35%	29
北河内	65	19	29%	228
中河内	50	18	36%	36
南河内	31	7	23%	12
堺市	51	15	29%	23
泉州	88	33	38%	83
大阪市	246	62	25%	108
計	616	178	29%	550

❹ その他医療機関：81 人（41 施設）

❺ 健康サポート薬局＊：６３９人（２０８/３１７施設）設置割合６５．６%

＊かかりつけ薬局として調剤だけでなく健康に関する相談支援を行う大阪府認定の薬局

❻ 患者団体：３７人（２団体）

«実働人員 ３，７１４人の職種»

職種	総数（人）
医師	354
管理薬剤師、薬剤師	736
看護師、助産師、保健師	1,301
管理栄養士、栄養士	90
臨床検査技師	131
社会福祉士、MSW、ソーシャルワーカー、相談員	123
事務職、医療クラーク、医師事務作業補助	862
患者（弁護士含む）	36
その他コメディカル ※	81
計	3,714

※その他コメディカル内訳：看護補助、救命救急士、理学療法士、作業療法士、
診療放射線技師、診療情報管理士、臨床工学技士等

3．コーディネーターの活動促進

現状と課題

全国トップの養成数。

スキルアップ研修開催（R6.9.19　主催：大阪大学病院）

養成したコーディネーターの活動促進が課題。

取組案（令和７年度）

❶養成促進

未配置の市町村、医療機関への配置を目指す。

❷スキルアップ研修の継続開催（予定）

各拠点病院と連携し、継続的な研修開催について方向性を検討する。

❸医師向けプログラムの継続

標準治療の周知やトピックスなど、拠点病院と協力してプログラムの充実を図る。